

風水害に対する備え

- 毎年、全国各地で台風や大雨などの風水害で被害が発生しています。風水害による被害を最小限にするためには、日ごろからの備えと心構えが大切です。次のことに注意して被害を最小限に抑えましょう。

1 日ごろからの心構えと準備

▶▶ 防災に関する知識を蓄えましょう。

地域で実施される防災訓練や防災に関する講習会、イベントなどに参加したり、自治体の広報誌やパンフレットなどを通じて、普段から防災に関する知識を蓄え、いざというときの対応力を身につけておきましょう。

▶▶ 気象情報に注意しましょう。

テレビ・ラジオや地域の防災行政無線などから伝えられる気象情報には普段から耳を傾ける習慣をつけておきましょう。

▶▶ お住まいの地域の特性を知っておきましょう。

台風や大雨は、河川の氾濫や、地すべりやがけ崩れなど、地域の特性に応じた様々な災害をもたらします。お住まいの地域では、どのような災害が発生しやすいか、また、危険な箇所はどこかなどを地元の自治体に尋ね、確認しておきましょう。

▶▶ 避難場所、避難路を確認しておきましょう。

一時的に避難する場所を地元の自治体に尋ね、日ごろからその位置やそこまでの道順を確認しておきましょう。その際、避難経路の途中に用水路など危険な場所がないか、特に注意するようにしましょう。

▶▶ 非常持出品を準備しておきましょう。

避難するときのため、非常食などのほか、懐中電灯、携帯ラジオや救急医療品、衣類、現金などを準備しておきましょう。

▶ 家族でよく話し合っておきましょう。

それぞれの役割や避難先で落ち合う場所など、あらかじめ家族でよく話し合っておきましょう。

▶ 地域での防災活動に参加しましょう。

大規模な災害の場合には、防災関係機関による活動が困難になる場合も考えられますので、地域のみなさんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識を持ち、自主的な防災活動を行うことも大切なことです。地域ごとに自主防災組織の活動を積極的に進め、日ごろから訓練などに参加しましょう。

2 台風の接近や、大雨による災害のおそれがある場合の対応

▶ 気象情報に注意しましょう。

テレビやラジオ、インターネットなどを通じて、最新の気象情報を入手しましょう。

▶ 外出は控えましょう。

強風で飛ばされたものでけがをしたりするおそれがありますので、なるべく外出は控えるようにしましょう。

▶ 家の周りを点検しましょう。

強風に備え家屋、塀や看板などの老朽化しているところを補強するとともに、排水溝などがゴミで詰まっていないかどうか、点検しておきましょう。また、強風でとばされそうなもの、浸水時に流されそうなものは、全て室内に取り込むか、固定するなどの対策が必要です。

▶ 早めに避難しましょう。

浸水やがけ崩れのおそれがある場合などには、早めに避難することが何よりも大切です。

3 避難するときに注意すること

▶ 単独行動はなるべく避け、地域の人々と協力しあって避難しましょう。

▶ お年寄りや子ども、病気や体の不自由な方がいる家庭では、特に早めに避難しましょう。

また、これらの方々には家族だけでなく、近所の人にも気配りをするよう心がけましょう。

- ▶▶ 災害の状況を軽く見ないで、消防や警察、市町村などの広報に注意し、避難の勧告や指示が出された場合には、その指示に従いましょう。
- ▶▶ 電気やガスなどの始末と戸締まりを確実に行いましょう。
- ▶▶ 避難経路の途中に用水路や切り立った崖などがある場合、増水による鉄砲水や土砂崩れに巻き込まれるおそれがあります。避難の際は、このような危険な場所を通るのは避け、安全なルートや回り道をするようにしましょう。
- ▶▶ 回り道でも、あらかじめ確認しておいた最も安全な道順を選んで避難しましょう。また、断線したり、垂れ下がったりしている電線には、絶対に触らないようにしましょう。
- ▶▶ 服装は行動しやすいものとし、ヘルメットや底の丈夫な運動靴、手袋なども用意しましょう。
- ▶▶ 何よりも、あわてず落ち着いて行動しましょう。

4 台風や大雨が去っても注意

- ▶▶ 台風や大雨が去っても、土砂災害には引き続き注意が必要です。
- ▶▶ 土砂災害が発生する前には、普段はわき水がないところから水が噴き出す、がけの斜面を小石が転がり落ちるなどの前兆現象が起こる場合があります。
- ▶▶ このような現象を発見した場合には、速やかに避難するとともに、防災関係機関に連絡をお願いします。

福島県災害対策課

〒960-8670 福島県杉妻町 2-16

電話：024-521-7194

FAX：024-521-7920